

「町田市立陸上競技場観客席増設」に係る対応について

1. これまでの経過

2017年3月議会において、本年度当初予算に計上した「観客席増設基本設計委託料及び観客席増設地質調査委託料」について、「検討結果、投資、経済効果、スケジュールなど、他の候補地も含め事業の最適化に向けて検討の余地がまだ見受けられる。これらの点を議会に説明し明らかにするまで、予算の執行を猶予されたい。」との附帯決議を受けました。

これを受け6月議会において、検討の余地があるとされた「スタジアム新設の実現可能性」「事業手法等の検討」「経済効果」等の項目について、追加検討の結果を説明いたしました。

なお、「交通対策等」「整備工事費縮減」等の課題対応について、適宜、建設常任委員会に進捗状況等を報告することといたしました。

2. 基本設計の契約について

契約日：2017年8月17日

受託者：株式会社 梓設計

契約額：37,260,000円（税込）

3. 課題解決に向けた取り組みの実施

(1) 「交通対策等」に対する取り組みの内容

①課題の整理

当面の課題として、次への対応が必要と考えます。

- ・限られた台数のバスを効果的に配車し輸送力を最大限に発揮すること
- ・利用者がバスに乗降車する際の動作の効率化を図ること
- ・試合以外にも楽しめる時間を提供し、帰る時間を分散させ、バス待ち時間を短縮すること

②具体的な取り組み

今すぐに実施できる取り組みとして、観客数1万人が推測される8月26日（土）開催のFC町田ゼルビアー松本山雅FC戦において、下表の取り組みを交通事業者、ゼルビア等と連携のうえ、総合的・一体的に実施します。

あわせて次の交通対策調査を同時に実施し、取り組みの効果検証及び分析を行い、改善点を取りまとめます。

- ・複数のバス停での待ち人数及び待ち時間等の計測
- ・競技場入場口での聴き取りによるアンケート（アクセス経路・手段等）

時点	取り組み内容	期待される効果
行き	①鶴川駅臨時バス乗り場での案内改善 案内人（ボランティア）が、バス停・タクシー乗り場への案内表示を掲げ、誘導することを徹底する。	案内・誘導改善による待ち時間の短縮
滞在中	②体験型イベント等の開催 ゼルビアが、試合前後に芝生広場を活用し、子どもを対象とした体験イベント等を実施する。	試合以外にも楽しめる時間を提供することによる乗車時間の分散
	③キッチンカー等の営業時間の延長 キッチンカー等が、営業時間を延長し、観客が試合後も利用できるようにする。	
帰り	④鶴川駅行き直行バスの2台縦列待機 交通事業者が、直行バスベイにバス2台を待機させ、観客が2台同時に乗車し、一気に運ぶ。	乗車の効率化による待ち時間の短縮
	⑤鶴川駅行き直行バスへの乗車誘導、整列の工夫 上記④と連動し、案内人が、待ち列を定員数で一律に区切り、乗車バスに割り振る。	案内・誘導改善による待ち時間の短縮
	⑥鶴川駅行き直行バスの利用促進 案内人が、効率的な運用が可能な直行バスの利用を促し、野津田車庫バス停への案内を控えることで、町田駅行き路線バスの増便を抑え、運行距離の短い鶴川駅行き直行バスの増便に充てる。	輸送の効率化による待ち時間の短縮
全般	⑦交通系ICカードの保有促進 ゼルビアが、現金払いに代わりICカード利用を促し、乗降車時間を短縮することで、より多くのバスの往復輸送（競技場～鶴川駅）を実現する。	乗降車の効率化による待ち時間の短縮

（２）「整備工事費縮減」に対する取り組みの内容

①課題の整理

当面の課題として、基本設計においてコストダウンを図るため、Ｊリーグとの調整を継続していくことが必要と考えます。

②具体的な取り組み

7月4日（火）にゼルビアに同行してＪリーグを訪問し、次の項目を確認したので、この条件を踏まえ、観客席増設基本設計の検討において、整備工事費縮減に努めてまいります。

- ・入場可能数は、将来構想では、上限2万人以上可能な配置を想定し、1万5千人としているが、1万5千人を上限とすることが可能であること
- ・席種は、将来構想では背付個席（増設5,000席分全て）としているが、ベンチ席、立見席など、自由度があること
- ・トイレは、将来構想ではC等級（必要個数が多い）としているが、B等級（必要個数が少ない）で十分なこと

4. 今後の予定（2017年度内に、適宜、建設常任委員会で報告する内容）

- ・上記取り組みの効果検証結果及び改善点
- ・改善点を反映した取り組みの進捗状況
- ・観客席増設基本設計の進捗状況